

平成 18 年度市・県民税は、税制改正により 以下の通り変更となります

(1) 公的年金等控除の改正

65 歳以上のかたの公的年金等の収入金額から控除される公的年金等控除額が引き下げられました。下表の計算式により算出した金額が、公的年金等の雑所得の金額となります。

改正前			改正後		
年金収入	割合	速算控除額	年金収入	割合	速算控除額
2,600,000 円未満	-	1,400,000 円	3,300,000 円未満	-	1,200,000 円
2,600,000 円 ~ 4,599,999 円	75%	750,000 円	3,300,000 円 ~ 4,099,999 円	75%	375,000 円
4,600,000 円 ~ 8,199,999 円	85%	1,210,000 円	4,100,000 円 ~ 7,699,999 円	85%	785,000 円
8,200,000 円以上	95%	2,030,000 円	7,700,000 円以上	95%	1,555,000 円

(2) 定率減税の見直し

改正前 (現行)	改正後 (平成 18 年度)
市・県民税所得割額の 15% 相当額 (4 万円が上限)	市・県民税所得割額の 7.5% 相当額 (2 万円が上限)

(3) 老年者控除の廃止

平成 18 年度 (平成 17 年分所得) から、65 歳以上で前年の合計所得金額が 1,000 万円以下のかたに適用されていた老年者控除 (控除額 48 万円) が廃止になりました。

(4) 65 歳以上で前年の合計所得が 125 万円以下のかたの非課税措置廃止

平成 17 年度までは、65 歳以上で合計所得が 125 万円以下のかたは非課税となっていました。地方税法の改正により、非課税措置が廃止され、課税されることとなります。

ただし、平成 17 年 1 月 1 日現在で 65 歳以上のかたは、以下の経過措置が適用されます。

なお、この非課税措置が廃止されても、前年の合計所得金額が一定金額以下のかたは、引き続き非課税となります。

65 歳以上 (合計所得金額 125 万円以下) の経過措置

区分	平成 17 年度まで	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度以降
市民税	非課税	均等割 1,000 円	均等割 2,000 円	均等割 3,000 円
		所得割 1/3 を課税	所得割 2/3 を課税	所得割 全額課税
県民税	非課税	均等割 300 円	均等割 600 円	均等割 1,000 円
		所得割 1/3 を課税	所得割 2/3 を課税	所得割 全額課税

(5) 妻の均等割額の変更

均等割の納税義務を有する夫と生計を一にする妻で、夫とともに深谷市に住所を有するかたについては、平成 17 年度の均等割は段階措置で年額 2,000 円となっていました。平成 18 年度については以下の表の通りになります。

ただし、前年の合計所得金額が一定金額以下であれば非課税となります。

	市民税均等割	県民税均等割	合計
平成 17 年度	1,500 円	500 円	2,000 円
平成 18 年度	3,000 円	1,000 円	4,000 円

問い合わせ

市民税課(574 - 6637) 岡部税務課(585 - 2215) 川本税務課(583 - 2782) 花園税務課(584 - 1124) へ



上・優勝の原動力となったエース・八子選手 (写真中央)
左下・ジュニア深谷の子どもたちから花束が贈られました
右下・パレードで歓声にこたえる選手たち

第 37 回全国高等学校バレーボール選抜優勝大会 (春の高校バレー) が 3 月 20 日 (26 日、東京・国立代々木競技場で開催され、昨年優勝の深谷高校男子バレー部が 2 年連続、4 度目の優勝という快挙を達成しました。
この栄誉をたたえ、市から深谷市スポーツ栄誉賞が贈られました。

深高バレー部に深谷市スポーツ栄誉賞

第 37 回春の高校バレーで 2 連覇!!

選手たちは 4 月 8 日、JR 深谷駅から市役所までを、オーブンカーでパレードしました。沿道に集まった市民から祝福の歓声が送られました。
市役所駐車場で開催された優勝報告会で、同校の花形校長は「新深谷市誕生に花を添える」という約束を果たすことができました」とあいさつし、市民に大会連覇を報告しました。
続いて「深谷市スポーツ栄誉賞」の贈呈式が行われ、新井市長から賞状と盾、記念品が贈られました。主将の渡辺選手は「今年こそは 3 冠を取れるよう

深高バレー部 栄光の軌跡

2 回戦	2 (23 - 25) 1 (25 - 19) 1 (25 - 17)	高松工芸 (香川)
3 回戦	2 (25 - 12) 1 (20 - 25) 1 (25 - 14)	福井 (福井)
準々決勝	2 (25 - 18) 1 (25 - 14)	崇徳 (広島)
準決勝	3 (25 - 21) 1 (25 - 20) 1 (15 - 25) 1 (25 - 23)	岡谷工 (長野)
決勝	3 (27 - 25) 0 (25 - 15) 0 (25 - 19)	東北 (宮城)

2 年連続 4 度目の優勝!



大会 2 連覇を市民に報告する選手たち

頑張るので、応援をよろしくお願ひします」と力強くあいさつし、昨年果たせなかった春高バレー、インターハイ、国体優勝の 3 冠達成に向け、一層努力していくことを約束しました。